

以下の赤字部分は第二刷で修正されます。

P.15 L.8 チンパンジーはバナナなどを食べる穏やかな生き物というイメージですが

P.16 L.4行目

若いオスが台頭して、ボスの座を奪いとることがあるのです。

P.44 L.15~16 朝鮮式山城を建設し、東国の農民を

P.54 L.15~16 あるいは実益を求めて自らの意思で

P.62 L.5 日本側はこれを「蒙古襲来」（江戸時代後期以降は「元寇」）という

P.103 L.9 江戸と国元とを往復して将軍に拝謁し、妻子は

P.140 L.9 関税率を二〇%（のち五%）に

P206 L.17 林薫（ルビ：はやしただす）→林董

P.223 L.2~4 高まりました。西園寺から立憲政友会を引き継いだ尾崎行雄は、天皇主権の帝国憲法と矛盾しないように「民本主義」を唱え、第三次桂内閣の議会軽視に対し、衆議院で糾弾演説を

↓

高まりました。東大の政治学者・吉野作造は、天皇主権の帝国憲法のもとでもデモクラシー（民本主義）は可能であると論じました。西園寺から立憲政友会を引き継いだ尾崎行雄は、

第三次桂内閣の議会軽視に対し、衆議院で糾弾演説を

P.223 L.15~

大隈重信に組閣させます。この第二次大隈内閣が、第一次世界大戦に参戦することになります（次章参照）。

1924年には、貴族院を基盤とする清浦内閣を退陣させた第二次護憲運動の結果、憲政会の加藤高明が組閣しました。二度の護憲運動の結果、

P.266 L.11 浜口内閣はロンドン軍縮会議に元首相の若槻禮次郎を全権として送り込み、米・英・日が補助艦

P.420 L.17

「南京虐殺事件」が裁かれたのも